



虹だより

第80号
発行R2. 6.



今月の主な施設外就労



緊急事態宣言が解除され、なんとなく明るい兆しが見えてきたように感じます。虹でも消毒や検温、三密を避けた行動など、できるだけ事をして何とかこの難局を乗り越えてきました。厳しい環境の中で毎日作業にご協力いただいた利用者の皆さんには感謝しかありません。本当にありがとうございます。

しかし、闘いは終息したわけではなく、コロナウィルスはどこに潜んでいるかわからないまま特効薬もワクチンも開発されず、第二派の感染発生の心配も残っています。これからはコロナウィルスとの共存していく**新しい生活様式**にチェンジしていくことが最も必要です。政府からも今後の生活の実践例が発表されました。私たちもこれをしっかり守り第二波の流行を生まないように一人一人が自分の責任で気をつけていきましょう。



日常生活での実践例

● 人との間隔は、できるだけ2m以上空ける
● マスクを着ける
● 帰宅したら、まず手や顔を洗い、すぐに着替える

移動
帰省や旅行は控えめに

部屋
こまめに換気し、密集、密接、密閉の「3密」を避ける

健康チェック
毎朝、体温を測り、発熱や風邪症状があれば自宅で療養

買い物
すいている時間に素早く計画的に。通販や電子決済も活用

公園や公共交通機関
すいている時間を選び、会話は控えめに

食事
大皿を避けて個別に料理を取り、グラスやおちょこの回し飲みは避ける。おしゃべりを控えて料理に集中

冠婚葬祭などの親族行事
多人数での会食は避ける。発熱、風邪症状があったら参加しない

働き方
テレワークやローテーション勤務、時差通勤を活用。会議や名刺交換はオンライン上で



ワークプラザ虹の取り組み

2月、外国に出かけた方の発熱の注意喚起の通知から始まり、3月から4月にかけては国や県、市から毎日のように感染防止を呼び掛ける厳しい通知が届くようになりました。次々と企業が自粛要請を受ける中、福祉サービスは開所しておくという国の意向もあり、一人も新型コロナの感染を出さない安全な居場所づくりを目指して虹の取り組みが開始されました。

毎日の検温、換気、消毒に加えソーシャルディスタンスの確保と皆さんには窮屈な思いを強いることになりました。行事を断念しなくてはならなかったことはとても残念です。



虹の菜園か

今年も虹の家庭菜園に野菜の苗を植えました
どんな野菜が実るでしょう。
皆さんわかりますか？



災害発生

その時、あなたは？

先週の避難訓練でもやりましたが、感染拡大のリスクとして、密閉、密集、密接の「3密」が挙げられる中、従来の集団避難中心の災害対応を根本から見直すことが必要になってきています。

「避難」とは「難」を「避」けることであり、自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はないと考えます。

本当に避難所に行く必要のある方を、適切に受け入れられるようご協力ください。自宅が危険な場合も、避難先は市が開設する避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。

いずれにしても自分を守るためにどういう行動をとればよいか、普段から考えておきましょう。